

1. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学の教育課程において、厳格な成績評価のもと、所定の単位を修得し、次のような能力を身につけた学生に学位を授与します。

- ①「自立協同」の精神を基本に、幅広い教養と専門的知識を身につけ、健全な価値観と倫理観をもった良き市民として、幸せな人生を追求することができること。
- ②修得した知識と技能を活用しながら他者と議論し、問題の解決に取り組み、それを評価して次の思考と行動に活かしていくことができること。
- ③新しい知識や経験に関心をもつとともに、立案した企画について、目的達成を目指し、家庭・地域・社会における協働を通じ、実践していくことができること。

| 生活科学科 | | 保育科 | 言語コミュニケーション学科 | 音楽科 | 商科 |
|---|---|---|---|--|--|
| 生活科学専攻 | 食物専攻 | | | | |
| <p>【知識・理解】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各専門領域にわたって、健康で快適な生活を支援できる能力を身につける。 2. 各専門領域を幅広く学ぶことによる広い視野と総合的な判断力を養う。 3. 各専門領域において基礎的な知識・技術から応用まで段階的に学び職業意識が定着する。 <p>【技能・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健全な生活環境づくりを支援できる実践力を身につけ良識ある専門職業人を育成する。 2. 各専門領域、分野で求められる基本的な専門知識・技術が修得できている。 3. 得意分野の専門知識と技術を活かしプロとして社会に貢献できる人材を育成する。 <p>【思考・判断】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. モノづくりを通して深い教養と豊かな人間性を育てる。 2. 各専門領域において培った専門的な知識・技術を活かし、課題解決ができる能力を身につける。 3. 各専門領域の創作活動によりクリエイション能力を身につけ発想力豊かな人材を育てる。 <p>【関心・意欲・態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会で活かせる実践力を身につけた専門職業人を育成する。 2. 明るく行動力があり、常に前向きで向上心溢れた人材を育成する。 3. 職場や地域社会、多様な人々と仕事をしていく上で必要なコミュニケーション能力や考える力を育成する。 | <p>【知識・理解】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養と健康のプロとしての栄養士に必要なとされる実務能力を修得している。 2. 栄養と健康と食に関わる基礎および専門分野の知識を獲得している。 3. 社会人に必要とされる幅広い教養を身につけている。 <p>【技能・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養と健康と食に関する知識を学び、ひとびとの健康管理に携わる技術を修得している。 2. 理論に基づく多彩な実習や実験を通して、栄養士としての実践力を身につけている。 3. 人の食に関わる指導についての技能や表現する力を獲得している。 <p>【思考・判断】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎および専門分野の理論を基に、多面的な実務能力の習得を通して実践の場で応用できる自己判断力を修得している。 2. チームの一員として個々の役割を理解し、協調性を持ちつつ自主的な行動がとれる。 3. 課題発見、解決を通して、社会における基本的思考力や状況判断能力をもつことができる。 <p>【関心・意欲・態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康維持、増進の大切さを理解し、自らの食生活を自己評価することができる。 2. 食や健康について興味と関心を持ち、社会における現状と課題を自主的に探求できる。 3. 食の専門家としての意識を高く持ち、社会人としての基本的マナーやルールを身につけている。 | <p>【知識・理解】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児の子どもと関わるための保育理論や専門知識を体系的に修得する。 2. 保育内容に関わる専門知識・理解の成果を保育の現場で適切に用いることができる。 3. 社会人としての幅広い教養と豊かな人間性を備えている。 <p>【技能・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児の子どもを客観的にとらえ、子どもの心の動きを察知する力を身につける。 2. 保育に関する専門知識・技術をふまえた、保育における実践力を身につける。 3. 自らの実践を省察することによって新たな課題を発見し、解決することができる。 <p>【思考・判断】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育に対して常に謙虚で前向きな姿勢で取り組むことができる。 2. 実習、ボランティア活動、地域社会での社会経験を通して、自身の力量や専門職としての自覚をもち、自己の向上に努める。 3. 社会の変化に伴う多様なニーズに対応できる論理的思考力、判断力、問題解決力を身につけている。 <p>【関心・意欲・態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児期の子どもの育ちを支える専門家を目指し、保育に対して常に謙虚で前向きな姿勢で取り組むことができる。 2. 社会の一員としての自覚を持ち、他者と協調するためのコミュニケーション能力を身につけている。 3. 他者と良好な関係を築き、保育の仕事に誇りと責任を持ち、人間性と専門性の向上を目指す。 | <p>【知識・理解】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対話型コミュニケーション能力、すなわち、単なる情報の理解にとどまらず、相手の説得ができる能力を習得する。 2. グローバルな能力、すなわち、自分の国や地域の文化を理解しながら、異文化に対しても理解を示す能力を習得する。 3. 日本の文化・西洋の文化における幅広い文学・音楽・絵画などを理解し、その内容を発信できる能力を習得する。 <p>【技能・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 書かれている文章を論理的に読み解く技術を習得する。 2. 文章理解を意見・評価・批判に発展させる技術を習得する。 3. 意見・評価・批判を実際の社会的行動につなげるよう練習する。 <p>【思考・判断】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 書かれている文章の論理的理解から、考え抜く力を養成する。 2. 意見・評価・批判を発表することにより、前に踏み出す力を養成する。 3. 実際に社会的な行動をとることによって、チームで働く力を養成する。 <p>【関心・意欲・態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健全な価値観と倫理観を持った良き市民・良き家庭人を目指す。 2. 英米文化を含めた幅広い文学・音楽・絵画などへの興味・関心を示す人物を目指す。 3. 社会で規範となっている基本的マナーやルールを尊重する人物を目指す。 | <p>短期大学部音楽科の教育課程において、所定の単位を修得し、「自立協同」の精神を基本に、次のような能力を身につけた学生に学位を授与します。</p> <p>●音楽療法コース</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幅広い教養を身につけ、芸術と科学の融合である音楽療法について理解し、人々の健康と幸せのために働くことができる。【知識・理解】【関心・意欲・態度】 2. 世界基準（Global）の音楽療法を学び、地域（Local）の高齢者のヘルスケアニーズに応えられる、「グローバル人材」としての能力を有する。【知識・理解】【技能・表現】 3. 高齢者を対象とした音楽療法について理解するとともに、他の専門職と協働する能力を有する。【技能・表現】【関心・意欲・態度】 4. 自らの関心や提議された問題について探索し、知識を得ること、またセラピーの実践を積み重ねることにより、学問において、また人間的に、生涯にわたって成長し続ける基盤を形成する。【思考・判断】【関心・意欲・態度】 <p>●演奏コース・ニューサウンドコース・総合音楽コース</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 音楽の歴史、理論、様式、体系を理解し、身につけている。【知識・理解】 2. 上記①に則した演奏能力、創作能力を身につけ、自らの演奏や作品を確立することができる。【思考・判断】【技能・表現】 3. 上記②を基盤とし、合奏や合唱などのアンサンブルを通して、協調性、社会性を身につけている。【関心・意欲・態度】【思考・判断】【技能・表現】 4. 専門分野のみならず幅広い教養を身につけている。【関心・意欲・態度】【思考・判断】【技能・表現】 | <p>【知識・理解】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネス活動に必要なとされる実務能力を身につける。 2. 「商」に関わる幅広い学術分野の専門能力を身につける。 3. 社会人に必要とされる教養力を身につける。 <p>【技能・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. あらゆるビジネスに要求される「簿記」「パソコン処理」「事務」に関する具体的・実践的技能を獲得する。 2. 商業活動を支えるさまざまなシステム（経済・経営・商品・法・心理など）についての専門的技能を獲得する。 3. キャリア教育を通してプレゼンテーション能力と自己表現力を高める。 <p>【思考・判断】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 簿記、パソコン、事務、ビジネス実務、キャリアに関する多面的な実務能力の習得を通して、実社会で活用し応用できる自己判断力と論理的思考力を養成する。 2. 商業・経営・経済・財政・法・商品・情報など各分野の理論的学習を通して、社会の実態を立体的かつ複眼的に分析し、問題解決手段の糸口を探る方法を模索する。 3. 社会人として活躍する際に要求される基本的思考力や状況判断能力を養成する。 <p>【関心・意欲・態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネス社会が要請する高度な実務能力の習得を目指す。 2. 社会の動きに興味と関心を持ち、地域社会の現状と課題を自主的に探究できることを目指す。 3. 社会人としての意識を抱きつつ、社会で活躍するために必要な基本的マナーやルールの習得を目指す。 |